

にし ひら だけ
西平岳
標高1712メートル

なか だけ
中岳
標高1728メートル

しゃ か が たけ
釈迦ヶ岳
標高1794.9メートル

けん が みね
剣ヶ峰
標高1540メートル

まえ ぐろ やま
前黒山
標高1678メートル

八方ヶ原

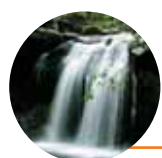
矢板市内にある「高原山10景」の1つ、長峰公園から望む高原山。
5連山の山容が美しい。

[INDEX—目次]



矢板岳友会の皆さんおすすめ！
秋のハイキングコース

p.4



高原山が好きなんだ。
山の駅たかはら／矢板岳友会
新風たかはら／レンゲグループ

p.6



いくつ、ご存じですか？
たかはら雑学10

p.8

高原山はこうしてできた
高原山は、那須の三本槍火山や日光女峰・赤薙火山などとともに、今から約40～50万年前頃に形成活動を開始したと言われています。形成期にあたる今から約30万年前頃から火山活動を繰り返し、徐々に今の形になっていったと考えられています。

広がる台地！八方ヶ原
標高約1000m～1200mのところ、に広がる台地状の部分で、拠点となる大間々、小間々、学校平（山の駅たかはら）には、駐車場があります。特に5月～6月には、約20万株にもおよぶレンゲツツジ（市の花）の群生を見ることができます。観光客が訪れています。

多くの峰の総称
高原山は、県北部の鬼怒川と箒川に挟まれた地域にあり、東西・南北約16kmの裾野の広がりを持つ成層火山です。ズバリ「高原山」と呼ばれる山頂があるわけではなく前黒山・中岳・鶏頂山・西平岳・釈迦ヶ岳・剣ヶ峰など標高約1500m～1800mの頂が集まって「高原山」を形成しています。特に市内からは、写真にある5つの頂をよく見ることが出来ます。そんな高原山は、日本三百名山に選ばれています。



ふるさとの象徴
「高原山が見えてきた！」矢板市外から帰ってくる方がよく口にする言葉です。「高原山をみるとホッとする」「矢板に帰ってきたという気分になる」など、高原山は、多くの市民の皆さんにとって矢板市の象徴となっています。

矢板市の北部に悠然と構え、懐深く見守り続けてくれている高原山。秋になると、その山肌が赤や黄色に染まっていく様子を見ることが出来ます。そして、そこから生まれる空気や水が、矢板の特産品でもあるおいしいお米やリンゴなど豊かな実りをもたらしてくれます。古の時代からそこにあり、これからも矢板の宝であり続ける——。今号の特集では、そんな高原山の魅力をご紹介します。

特集 矢板の宝 高原山の秋。